

はしかわ市長の **だいすき!くさつ**



子育て支援のさらなる充実

夏本番の時期になりました。学校に通われている子どもたちは、ちょうど夏休みの最中で、この期間にしかできないさまざまな経験を過ごしてほしいと思います。楽しい夏休みではありませんが、普段の生活とはリズムが異なり、戸惑いを感じている子育て世帯の人もおられるかもしれません。夏休みに限らず、安心して楽しく子育てをしていただけるよう、市ではいろいろな取組を行っています。



妊産・出産・子育て期における切れ目のない支援を行うワンストップ相談窓口である、子育て相談センターでは、多様な専門職による相談支援を行っている他、保健師や助産師による生後4カ月までの訪問支援と、保育士による生後7カ月頃の乳児のおられる家庭を訪問する市の独自事業も実施しています。

2月からは「出産・子育て応援給付金事業」を開始し、身近なところで相談に応じる伴走型相談支援と、経済的支援を一体的に実施しています。詳しくは6・7ページをご覧ください。

また「子どもを産み育てるなら草津市」と思っていただけなら実現していただくために、今年度から「草津市子育て6つの楽だ!」を実施し、さらに市独自の子育て支援策等を充実させてまいります。県内初の取組となります。保育施設などへの紙おむつ支給をはじめ、医療費助成を18歳までに拡大、第3子以降の0〜2歳児の保育料無償化などを順次実施してまいります。併せて、子育て支援に関わる保育士確保に向けた支援も進めてまいります(詳しくは4・5ページをご覧ください)。

新型コロナウイルスワクチン接種

市専用コールセンター ☎598-0932 (9:00~17:00、土・日曜日、祝日を含む)



令和5年秋冬接種について

国の通知などで内容が変わる可能性がありますので、最新の情報は、市ホームページをご覧ください。

接種期間	9~12月(詳細は未定です)
対象者	初回接種を終了した5歳以上の人
使用ワクチン	オミクロン株XBB.1系統の成分を含有する1価のワクチン
接種券	●65歳以上の人およびこれまでに基礎疾患などがあると市に申し出た人には8月下旬以降に接種券を送付する予定です 上記以外の方が接種を受けるには、接種券の発行申請が必要です。8月上旬に案内ハガキが届きますので、案内に従い、申請してください(接種券の発送は9月下旬以降を予定しています)。 ※転入後に草津市の接種券で一度も接種を受けていない人にはハガキが届きません。接種を希望する人はコールセンターにその旨を申し出てください

健康増進課(2階) ☎561-6683、☎561-0180



すべての人を大切にするために

~率直な子どもの思いから考える「平和」~

問 人権センター
(大路二、キラリエ草津3階)
☎563-1177、☎563-7070

8月に入ると、メディアで戦争に関する特集が組まれたり、平和について学バイベントが開催されたりと、戦争や平和について考える機会が増えていると思います。子どもたちもこの時期に、夏休みの課題として、関連記事の収集や作文など、平和に関する学習に取り組み機会が増えます。子どもたちの鋭い感性や素朴な疑問に、はっとさせられることもしばしばあります。今回は、昨年の6月23日、沖縄県の「慰霊の日」に開催された「沖縄全戦没者追悼式」で、当時、小学2年生の女の子が朗読した「平和の詩」をもとに平和について考えていきます。

「いいわがわかって、いいわがわかった」

びじゅつかんへお出かけ
おじいちゃんや
おばあちゃんも
いっしょに
みんなでお出かけ
うれしいな
こわくてかなしい絵だった
たくさんの人がしんでいた
小さな赤ちゃんや、おかあさん
風ぐるまや
チョウチヨの絵もあったけれど
とてもかなしい絵だった
おかあさんが、
七十七年前のおきなわの絵だと言った
ほんとうにあったことなのだ

たくさんの人たちがしんでいて
ガイコツもあった
わたしとおなじ年の子どもが
かなしそうに見ている
こわいよ
かなしいよ
かわいそうだよ
せんそうのはんたいはなに?
へいわ?
へいわってなに?
きゆうにこわくなつて
おかあさんにくつついた
あたたかくてほつとした
これがへいわなのかな
おねえちゃんといけんかした
おかあさんは、二人の話を聞いてくれた
そして仲なおり
これがへいわなのかな
せんそうがこわいから
へいわをつかみたい
ずっとポケットにいれてもっておく
ぜったいおとさないように
なくさないように
わすれないように
こわいをして、へいわがわかった
【沖縄県平和祈念資料館提供】



を逃げ惑う人々が描かれています。この絵を見たときに感じた、女の子の率直な思いがこの詩に込められています。
この詩には、
・地上で逃げ惑う人々の苦しみや絶望を、絵画から思い浮かべることが出来る想像力。
・戦争の恐ろしさを知ること、戦争への歩みを止めることができる理解力。
・母親に身を寄せたときに「平和だ」と感じた、人が持つぬくもりや安心感。
・姉といけんかしたときに、対話を通して和解できたという経験。
・平和の実現をめざす思いを自分の心に留め、手放さないという意志の強さ。
といった、平和な世の中をつくるためのヒントがたくさん詰まっています。そして、これらは、全て私たちの暮らしの中で意識できるもの、人間関係で培っていきけるものです。戦争や平和について考えるとき、漠然と捉えがちですが、自分にできることを地道に積み重ねていくことが、大切なのではないのでしょうか。
女の子は、式典前のインタビューで、
(沖縄戦で戦死した天国にいる大きなおじいちゃんに届くようにがんばります。
と答えています。日本で起こった戦争の延長線上に今の私たちの暮らしがあることを胸に、今一度、平和について考えたいものです。

